

友和

NO.586

発行日 令和8年2月1日

発行 社会福祉法人 友和の里

〒738-0203

広島県廿日市市友田 218-38

TEL0829-74-2157 FAX0829-74-2154

HP : <http://yuuwanosato.com/>

発行者 常務理事 中村 真和



2026年1月16日（金）に開催されたとんど

特集 真冬のイベント
とんど

新しい年の来る前から少しずつ準備をして出来上がった今年のとんど。2026年も見ることができました！場所を畑に変更することでいつもより多くの利用者さんと火を囲んで過ごしました。

1月16日に友和の里裏の畑でとんどを行いました。今年は、火災などの危険な場面をなるべく排除したうえで、皆さんに楽しんでいただこうと職員間で話し合い、職員の石杜^{いしこそ}さんが工夫をこらして竹ではなく伐採木を利用した立派なとんどを作ってくださいました。当日は天気も良く、風もなく絶好のとんど日和でした。年男を代表して、沖田^{おきたのぶゆき}信之さん佐々木^{ささきしんご}慎吾さんに点火をお願いしました。昨年とは違い、メラメラゆっくりと燃えるとんどを遊歩道や入所棟の3階からじっくりと見学したり、写真撮影などしながら一年の無病息災と友和の里の発展を祈りました。火が小さくなったところでそばに椅子を置いて暖を取る利用者さんもおられ、とてもゆっくりした時間を過ごすことができました。 (部長 川久保 貴子)



着火前、とんど飾り中



年男が点火しました



点火直後
ヒノキが燃える音は
ジュージュでした

後半、おき火になって
ミシミシいいながら
燃えているところ



火は、ついでに

らいねんもみる！
だんご汁食べたい

パンパンという音は苦手

あつかったよー

また来年もみたいです。
来年は年男だから楽しみ。

音はだいじょうぶだった

とんど、小さかった

僕をわしづかみにするような
とんどが見たい。

お餅食べたかった

←利用者さんのこえ

みんなで祝いもしました
新年を祝う会

1月9日に新年を祝う会を行いました。午前中に通所・入所合同で還暦・新成人の方々に記念品花束をお渡ししてお祝いして、年男・年女を紹介しました。これからも達成感や喜びを感じていただき友和の里での生活をより良いものにしていてください。午年の1年皆さん困難を乗り越えて良い年を駆け抜けていけますように。(主任生活支援員 西川 厚)

【㊟成人：浴資充さん】

お母さんより

お祝い会ありがとうございました。花束、記念品うれしかったです。成人を祝う会があることも知らなかったで、とても嬉しかったです。これからも友和の里さんと協力してもっくんを盛りあげたいです。

4月に入所式を体験されて、この1月にふたたび紅白幕を背にお祝いをしてもらった浴さん。みんなと一緒に祝いしてもらうのは最初難しかったです。会の後半には用意された席に座ることができ、たくさんの職員にカメラを向けられて、ちゃんとポーズをとってくれました。普段私は直接関わることは少ないのですが、この度新年会で彼の成長を感じられて、良かったなあとうれしく思いました。(地域交流支援員 ヒューガノリコ)



冬のどきどき ～事務所より～

一月七日(水)事務所での出来事をご紹介します。事務所の引き戸が開け閉めしにくくなったため修理をすることになり、工務店さんが持ち帰られることになりました。事前に事務所職員で話し合い戸の代わりにカーテンやパネルを設置することで対応することになりました。そして迎えた当日、寒波による極寒の朝でした。写真のような仮戸スタイルで一日がスタート。利用者さんの反応はそれぞれ違い、「なんだこれ」な感じで立ち止まって眺められる方、めくってみられる方、さらに通りがかりに顔を出して挨拶してくださる利用者さんもおられました。村松さんはいつも引き戸越しに定位置にモノがあるかチェックするのが日課なのですが、この日は何度か入って直接チェックに来ておられました。お昼休憩には、納所さんが何度もカーテンをめくってはニッコリのお顔を出され、ほっこりしました。「走ろう」とジュースチャイで何度も職員を誘っておられました。思いのほか、利用者の皆さん、柔軟に受け入れて下さっていました。職員さんもびっくりされる方が多かったです。即席引き戸、見事に役目を果たしてくれました。(事務員 竹内麻奈美)



納所さんのラブコールいっぱい!!



次々とあいさつにくる利用者さん!(^^)!



外から見た写真、戸をはずして、カーテンとパネルで防寒対策した状態

利用者の皆さんの声に耳を傾け、表情や小さな変化に気づきながら、日々の暮らしを支えます。その関わりの中で得た気づきを発信することで、職員同士で共有し、ご家族や地域の皆さんとも分かち合います。

専門職として一人ひとりの歩幅や思いに寄り添い、時間をかけて関わることにがしあわせを育む土台です。

1月16日には、竹ではなく「木」を使って組み上げた「とんど」の行事が行われました。そこに灯されるかがり火は、遠くからでも分かる目印となり、人が自然と集まる場所になります。寒い中でも、その灯りがあることで、安心感やぬくもりを感じる事ができます。友和の里が目指す姿も、どこかそのかがり火に似ているように思います。そつと灯り続けることで、利用者やご家族、地域の方々が「ここに来れば大丈夫」と感じられる場所でありたい。そのために、私たちは日々の支援と学びを積み重ねています。



利用者・保護者・友和の里役員・職員・地域住民のみんなが「私たち」として、ともにしあわせづくりを目指していきたいと思えます。

二月という静かな季節に、あらためてその灯りを見つめ直しながら、歩みを進めていきたいと、想いを新たにしました。

(常務理事 中村 真和)

職員さんインタビュー

今回はフレンドホームで介助員として働いている^{むらたさなえ}村田早苗さんにお話をさきました。

働いてみて

昨年に実家に戻ってきて母と一緒に暮らすようになりました。フレンドホームゆうわでは母を気にかけてながら近場で働くことができるので良かったです。利用者さんそれぞれに合わせた調理方法や配膳に気を使っています。刻み食の方の準備には時間がかかります。奮闘しながら1年経ってやっと個性や違いがわかるようになってきました。自分のペースで仕事をする事ができるのでこの仕事は合っているかなと思います。



村田さんが見ている風景

早朝、仕事にやってくると玄関にはいつも下崎さんがいてくれます。そこで朝の挨拶を必ずしてくれるのです。その後朝食の準備を手早くしないといけないのですが、ひと段落した頃、まだ姿が見えない時には、守口さんのお部屋に行って一言声掛けをしています。守口さんは自分のタイミングで起きたい方。起床したら、その後応接間についてソファに腰掛けるのがルーティンになっています。私の仕事は食事や掃除、洗濯が主な仕事です。利用者さんと直接関わることは少ないのですが、元旦には佐藤さんが食事を受け取りに来られた時に新年のあいさつをしてくれました。うれしかったです。



村田さんはいつも細かい所に気付いて掃除をして下さり、とてもありがたいです。入居者が移動される時には、村田さんが声かけをするとスーッと立ち上がって下さる方がおられ、二人で移動先までのんびりと歩いておられる後ろ姿は見ていてとても微笑ましい光景です。(部長 川久保貴子)

「私たち」が大切にしているあわせづくり

寒さの中にも、少しずつ日差しの明るさを感じる季節となりました。年が明け、日常のリズムが戻ってくるこの時期は、あらためて足元を見つめ直す時間でもあります。

友和の里の使命は、理念「友和の里にどうすべての人々が、ともに学び、ともに成長し、ともにしあわせになることをめざします」を体現するべく、次のようにうたわれています。

【友和の里の使命】

私たちはしあわせづくりの実践者となります

私たちはしあわせづくりについてまなび、発信していきます

私たちはひとりひとりのしあわせを、専門家として育みます

私たちは利用者・保護者・友和の里役員・職員・地域住民

友和の里の日々の支援や、関わりの中にある「しあわせづくり」は、特別な出来事や大きな成果を求めることではありません。安心して過ごせる時間があること、気持ちを分かち合える人がそばにいること、その人らしい毎日を「実践」し続けることだと考えています。



通所部 | 日中活動班より



とうげいはん 陶芸班

干支作りも一段落つきましましたので、ゴム入れ作業をしつつ粘土を使って作品作りをしていきたいと思っています。色々な方から作品のアイデアをいただいていますので形にしていくのが楽しみです。(生活支援員 朝川 泰貴)



そうさくはん 創作班

山根慶一さんとウエスの納品に行きました。本当であれば以前に計画を立てていましたが急遽体調不良により延期となり、今回満を持しての納品となりました。納品先へ向かう道中は、ドライブ気分を外を眺めておられ、納品先へ到着すると納品書を笑顔で渡され、『まさにミッション完了!!』と言わんばかりの佇まいでした。帰路も終始笑顔で職員一同もほっこりする一日でした。(主任生活支援員 山田 憲志)



かいとおはん 貝通し班

日々順調に作業が進んでいます。貝通しも豆管入れも皆さん安定したペースで作業されています。まだまだ寒い日が続きますので、無理なく安定した作業を継続していきたいと思っています。

(生活支援員 冠 茜)

りょういくはん 療育班

今回の療育班のご紹介は、香川晃範さんです。通所ホールの中を歩かれるのが大好きで、最近は竹踏み運動にも挑戦しています。屋内は自発的によく旋回しながら歩かれるのですが、屋外で歩くのはあまり好きでない香川さん。歩いている時の笑顔がとても素敵です。(生活支援員 濱田吉弘)

トピックス



太鼓をたたいて...

グループホームの初詣

元日にグループホームゆうわフレンドホームゆうわの皆さんで、津田神社へ初詣に行きました。津田神社に着くと沢山の参拝者がいらっしやったので順番を待ってから皆さんで拝礼をし、今年も皆さんが健康で無事に新年を迎えられたことへの感謝を伝えました。そして皆さんで集合写真を撮った後、武永さんが元気に太鼓を叩かれてから津田神社を後にしました。今年も皆さんが健康で楽しく一年を過ごせますように。



(生活支援員 堂面 大地)

初詣 入所部

亀山神社へ行ったこと

入所部では1月1日、廿日市市浅原地区にある亀山神社に初詣に行きました。新年の清々しい空気を感じながら、皆さん一人ひとり手を合わせ、新年のご挨拶と願いを込めてお参りされました。境内では、利用者さんの体よりはるかに大きな御神木の幹にびっくりされていました。今年は午年ですね。馬は古来より神の乗り物として福を運ぶ存在とされています。皆様にとって、この1年が健やかで実り多い年となりますようにと、その様子を見ながら願う職員でした。

(生活支援員 佐藤圭子)



今年もしし舞がきたよー

元旦の日のこと

元旦は下崎秀夫さんのお誕生日でした。午前中、朝から待っていた獅子舞がやってきて、恒例の頭噛みをしてもらいました。職員が「今日が誕生日なんですよ」と下崎さんのお誕生日を知らせると若者会の方もお祝いを言ってくださり、みんなで記念撮影をしました。夕食にはケーキが出ました。下崎さんは「どうやって食べようか?」と少し戸惑っていましたが美味しそうに食べていました。さらに食後にはもう一つ私の弾くギター演奏「バースデーソング」をニコニコしながら聴いてくれました。下崎さんの正月一日の様子をご紹介します。(生活支援員 寄尾 博孝)



2匹の獅子舞にはさみ噛みしてもらいました



若者会の皆さんと、いつもありがとうございます!

入所部新年会

筆でかいた書初め

入所部では9日の午後から新年会レクリエーションとして書初めを行いました。好きな文字や今年の抱負、想い等個性豊かな作品が出来上がりました。慣れない筆に苦戦しながら真剣な表情で取り組まれる方、職員や周囲の方々と談笑しながら取り組まれる方など様々でしたが、皆さん完成した作品を見ながら満足そうな表情でした。今年も笑顔あふれる良い年になる様祈っております。

(主任生活支援員 池田 識彰)



1月の通所の開所日

お正月あそび

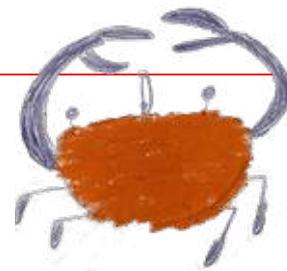
1月の開所日は、お正月遊びを行いました。ホワイトボードに用意した福笑いの顔にマグネットで目や鼻を貼り付けていくと、個性あふれる表情が次々と完成し、自然と笑い声が広がりました。また、羽子板遊びは風船を使って行いました。ラリーが続いて白熱する場面も見られるなど、大いに盛り上がりました。参加された皆さんは終始笑顔で、和やかな雰囲気の中、お正月遊びを満喫されました。(生活支援員 井場 孝行)



みんなでつくりました

絵馬づくり

新年会の日の午後はレクリエーションをしました。通所部は絵馬作りでした。利用者さんは自分で台紙を選びシールや色紙を好きどころに貼ったり、ペンで書いたりして、それぞれに個性のある絵馬が完成しました。今年も皆さんにとって良い一年になりますように願っています。(主任生活支援員 西川 厚)



気持ちよく新年を迎えました～

正月かざり

年末にお正月飾りを作りました。石社さんに孟宗竹を切ってきてもらい、節をはさんで窓を2から3個作ってもらいました。この窓が曲者。浅くても深くてもいけません。ちょうどいい角度に切るのが難しいのです。それから青竹につやを出すため、事務員の中村さんと二人でウエスで竹を拭きました。スパークで買ってきた菊でミニブーケを作って差し込みました。立派なお飾りができました。事務所、フレンドホーム、コミュニティーハウスの3か所に設置しました。(地域交流支援員ヒューガノリコ)



設置後、偶然、通りかかった理事長

2

ゆうわ さとぎょうじよてい 友和の里行事予定

- 2/5~6 木金 訪問美容 (入所)
- 2/6 金 アート活動 (入所)
- 2/10 火 工賃支払日 (通所 / 入所)
- 2/10 火 お楽しみ会 (入所)
- 2/11 水 フレンドホーム親睦会
- 2/13 金 夕食会 (GHFH)
- 2/13 金 体重測定 (通所)
- 2/18 水 体重測定 (入所)
- 2/20 金 アート活動 (入所)
- 2/21 土 土曜日開所日 (通所・入所)
- 2/22 日 訪問美容 (GHFH)
- 2/24 火 夕食会 (入所)
- 2/27 金 そうじの日 (入所)

水曜日移動スー
うびいどう
うびいどう

1	2	3	4	5	6	7
		ぎょうじ しよく			アート ほうもんびよう	
8	9	10	11	12	13	14
		こうちん	しんぼくかい		たいじゅう そくてい	
		おたのしみ かい			ゆうしよく かい	
15	16	17	18	19	20	21
			たいじゅう そくてい		アート	かいしよび
						かいしよび
22	23	24	25	26	27	28
ほうもん びよう		ゆうしよく かい			そうじのひ	

- にゅうしょ (入所)
- つうしょ (通所)
- GHFH グループホーム
- アーチェリー

たなかまり
絵：田中麻理

新しい職員さん



ささきめぐみ
佐々木恵美さん (入所部看護師)

佐々木さんはこれまで精神科の病院で長く勤めてこられたそうです。友和の里の印象を聞いてみました。職員の笑顔がいい、そして若い職員さんがいて活気がある職場だと感じたそうです。趣味は映画鑑賞。月に3本は映画館で見られるそうです。



むらかみのぶこ
村上伸子さん (フレンドホームゆうわ世話人)

村上さん、福祉の仕事歴は長く市内のグループホームで14年務めてこられたそうです。好きなのはドライブしながら美味しいモノを食べ歩きすること。以前の仕事は夕方からだったので生活リズムが変わってしまいました。朝が早いのが辛いですとにこやかに話しをしてくれました。